



保健だより

2020年2月10日

No.15

小木中学校 保健室

2月の保健目標

心も体も元気に過ごそう

立春は過ぎましたが、まだまだ寒い日が続いています。能登町内のインフルエンザの流行はおさまったようですが、溶連菌感染症や新型コロナウイルス感染症の動向も気になるところです。咳エチケットや手洗い等感染症予防に気をつけて、寒い冬を元気に過ごしましょう。

2月の保健行事予定

25日(火)～ 健康相談

(希望者と未治療者等に行います。)



手洗い自己チェック

保健委員会の活動として、給食前に石けんで30秒以上手を洗い、アルコール手指消毒をする取組を行っています。

～保健委員の感想より～

- ・1月はみんな30秒意識してできた。
- ・以前よりみんな長く手洗いをしていた。
- ・30秒はみんなバラバラだった。

引き続き2月も「手洗い自己チェック」を行います。

手洗いは、感染症予防の基本です。**ていねいな手洗いを意識して、感染症を予防しましょう。**



石川県に「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎」の警報発令中!!

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、いわゆる溶連菌による感染症の患者が石川県内で増加しています。これを受け、石川県は警報を発令しました。

感染拡大防止のため、手洗いの励行と咳エチケットの徹底に心がけましょう。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、A群溶血性レンサ球菌によって引き起こされる感染症で、発熱と全身倦怠感、咽頭痛を特徴とします。患者は、学童期の小児に最も多くみられます。

【感染経路】 咳やくしゃみなどによる「飛沫感染」、菌が付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」により拡がります。

【症状】 2～5日の潜伏期の後、突然の発熱、咽頭痛、全身倦怠感によって発症し、しばしば悪心、嘔吐を伴います。基本的には、1週間程度で症状は落ち着きますが、菌が産生する毒素により、発疹を伴う猩紅熱や、リウマチ熱、腎炎などを生ずることもあります。

【治療】 抗菌薬が有効です。

【予防】 手洗いを徹底しましょう。

症状がある場合は、マスクを着けるように心がけましょう。

発熱、咽頭痛などの症状がみられた場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

